

東芝、四日市で 森林保全活動

市有林
5.8
畝
県や市と協定

四日市市に半導体工場がある東芝(東京)が、同市水沢町の市有林五・八畝の森林保全活動に取り組むことになり、県庁で十九日、県や市と協定を結んだ。県が二〇〇六年から進める「企業の森」事業に基づく二十九件目の協定で、四日市市内では初めて。同社は今後五年間、林内での間伐や植樹、従業員の環境教育活動に取り組む。

長は「エネルギーを使う会社として継続的な環境保全に励みたい」と話した。
日常の間伐はNPO「森の風」に委託。十二月に同社従業員らが植樹活動をする。

(安藤孝憲)

式では同社の佐々木則夫社長と鈴木英敬知事、田中俊行市長が、森林整備での連携を目指す「森林づくり宣言書」に調印。佐々木社



協定を結んだ鈴木英敬知事(左)と東芝の佐々木則夫社長(中)、田中俊行四日市市長(右)＝県庁で